

採用案内パンフレット

独立行政法人 農林水産消費安全技術センター

Incorporated Administrative Agency
Food and Agricultural Materials Inspection Center



ホームページ



公式X



公式Facebook

私たちと働きませんか？

ファミック

私たち、農林水産消費安全技術センター（略称：FAMIC）は農林水産省所管の独立行政法人（行政執行法人）として、国家公務員の身分を有しています。

- 食の安全、消費者の信頼確保に貢献したい！
- 農林水産業に関する色々な仕事を体験したい！
- 農林水産関係の調査・研究をやりたい！
- 国際的な仕事をしたい！ などなど

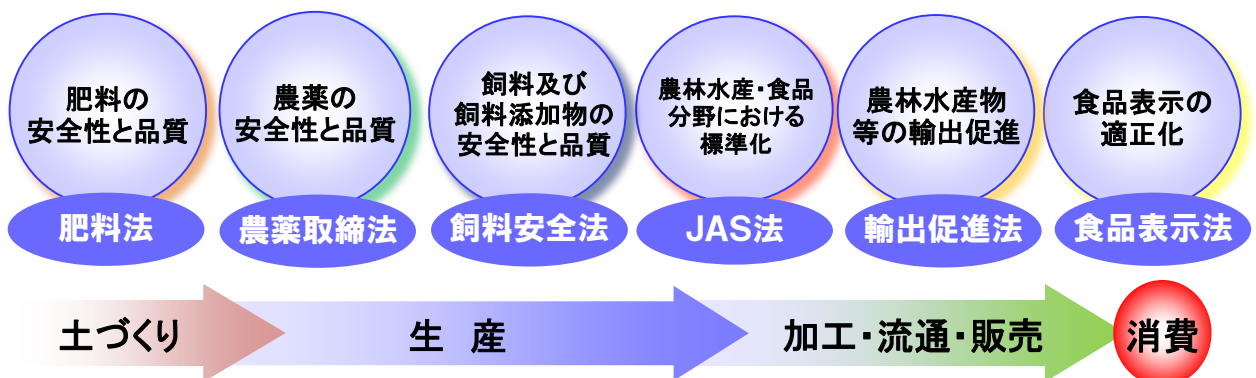
FAMICは、確かな技術力による科学的検査・分析により、食の安全と消費者の信頼確保に技術で貢献することを基本理念としています。

主な業務には、食品の表示監視やJAS制度の推進、肥料、農薬、飼料の安全性の検査、国際関係業務などがあります。

また、最新の機器を用いたラボでの分析、ほ場での栽培試験、検査に関する調査研究など色々な仕事が体験できます。

FAMICの主な業務

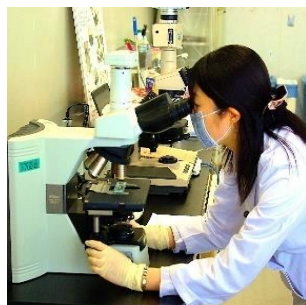
※ 法律名の一部は略称です。



FAMICとは？



2007年に農林水産省所管の3つの検査機関（農林水産消費技術センター、肥飼料検査所、農薬検査所）が統合して設立した独立行政法人です。

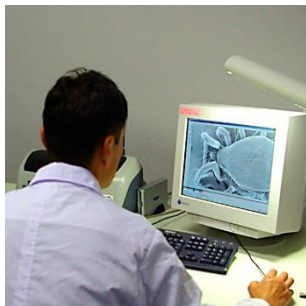


「独立行政法人」とは？

政府の事業のうち、大学や博物館、病院、研究機関など、国から独立して運営した方が効率的な部門を独立させた法人のことです。

「行政執行法人」とは？

独立行政法人のうち、国の行政事務と密接に関連した事務・事業を、国の関与のもとで、単年度ごとの目標・計画に基づいて業務を執行する法人です。

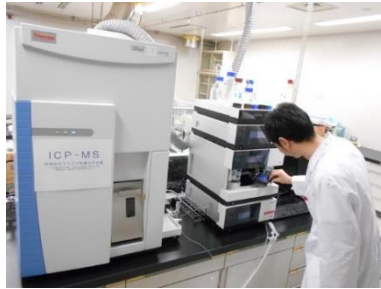


肥料は、生産、輸入、販売にあたって、登録または届出が必要です。FAMICでは肥料法に基づき、新たに登録される肥料が公定規格に適合しているか調査します。また、生産事業場に立ち入り、帳簿書類等の検査、サンプルを採取し、有害物質などが基準の範囲内か、保証された成分は確保されているかについて分析・鑑定を行います。

その他、地力増進法に基づき、バーミキュライトなどの土壌改良資材の品質の検査を行います。



肥料の立入検査



ICP-MSによる金属元素の分析



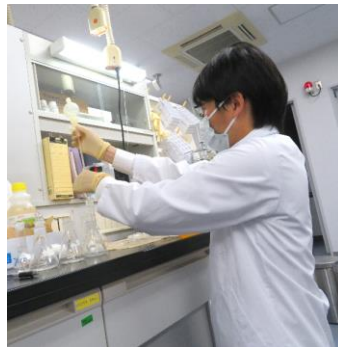
植物に対する害の試験

農薬は、製造、輸入、販売にあたって、農林水産大臣による登録が義務づけられています。FAMICは、農薬の使用時の安全性、薬効、作物に残留する農薬による健康への影響、環境への影響などについて登録審査を行い、農薬の安全を確保する仕組みの中で一翼を担っています。

農薬の登録に必要な試験成績の信頼性を確保するため、GLP (Good Laboratory Practice) 制度に基づき、試験施設を調査しています。また、無登録農薬などの流通を防ぐため、製造者や販売者、使用者への立入検査を行っています。その他、農薬の使用状況と残留実態を把握する調査や農薬登録審査に資する調査研究を行っています。



農薬の登録審査

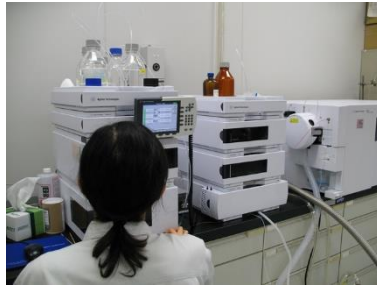
立入検査で集取した
農薬製剤の分析農薬の蜜蜂への影響に
関する調査研究

飼料及び飼料添加物の使用が原因となって有害畜産物が生産されることなどを防止するため、FAMICでは、飼料安全法に基づき、飼料や飼料添加物の製造事業場に立ち入り、帳簿書類等の検査、サンプルを採取し、有害物質などが基準規格の範囲内かどうかなどについて分析・鑑定を行います。また、飼料などのGMP(適正製造規範)ガイドラインへの適合状況の確認を行います。

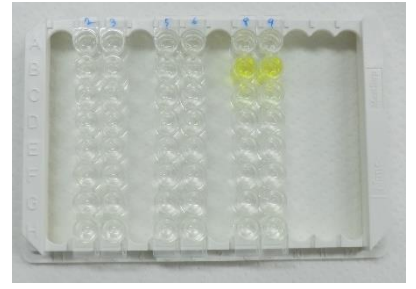
BSEの発生防止のため、肉骨粉などの製造事業場が製造基準に適合しているかどうか、現地検査や製品検査により確認を行います。



飼料などの立入検査



LC-MS/MSによるかび毒の分析



動物由来たん白質のELISA法



ペットフード安全法に基づき、ペットフードの製造工場などに立ち入り、品質などの検査を行います。

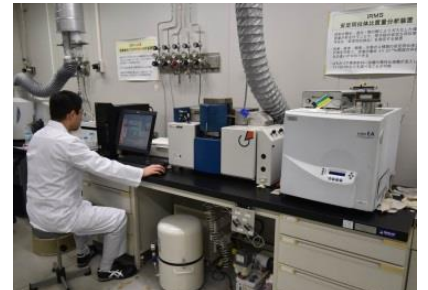
販売されるすべての食品は食品表示基準に従った表示を行うことが食品表示法で義務づけられています。FAMICでは、表示の適正を確保するため、農林水産省と連携して食品の表示を厳しく監視しています。店舗で販売される食品について、原産地や種・品種、加工食品の原材料等が正しく表示されているか、様々な科学的手法を駆使して検査を行います。また、不適正な表示の疑いがあれば、食品表示法に基づき製造工場などへ立ち入り、商品や原材料、帳簿書類などを検査します。



DNA分析による種・品種の検査



無機元素分析による原産地の検査



安定同位体比分析による加工食品の原材料の検査

JAS制度は農林水産物・食品の品質や取扱方法等についての規格(JAS)を国が制定し、JASに適合していることを第三者(登録認証機関)が確認する制度です。

FAMICでは、事業者の強みのアピールにつながるJASが制定されるよう、JAS案を提案する方々を積極的に支援するとともに、JAS制度の信頼性を確保するため登録認証機関に対する立入検査やJAS製品の検査などを行っています。



登録認証機関の現場調査の検査



JAS製品の品質検査



JASマークを付けた食品



JASマークを付けた広告

ジャサフ
FAMIC内に認定センター(略称: JASaff)を設置し、国際規格であるISO/IEC17011に基づき、農林水産分野の規格に関する認証機関及び試験所の認定を行っています。

また、JASaffは、認定を行う機関の国際的枠組みに参加することで、認定の審査が国際的に通用するものとなり、認証機関及び試験所の信頼性向上に貢献しています。



認定センターロゴ

輸出促進法により、我が国で生産された農林水産物及び食品の輸出促進が図られています。FAMICでは、これらの輸出に必要な輸出先国が求める施設認定の手続きや輸出証明書の発行を実施する登録認証機関等の登録・更新に係る調査等を行っています。また、関係者が一体となり輸出促進に取り組む認定輸出促進団体の規格策定を支援し、これらの活動を通じて輸出促進に貢献をしています。

国際標準化機構(ISO)の、食品や飼料、林産物に係る専門委員会の国内審議団体として、国際規格作成に関する国内意見の取りまとめや国際会議参加などを行っています。

農薬の登録制度に関する国際調和のため、経済協力開発機構(OECD)における農薬作業部会及びGLP作業部会、国際農薬分析法協議会(CIPAC)などの国際会議に参加しています。

飼料の安全及び分析分野における世界で初の国際獣疫事務局(WOAH)コラボレーティング・センターとして、飼料の安全性に関する情報の収集・発信、技術協力などを行っています。



**Food and Agricultural
Materials Inspection Center**

WOAH Collaborating Centre
for Animal Feed Safety and Analysis

Reference Centre  World Organisation
for Animal Health
Founded in 1967

農林水産消費安全技術センター

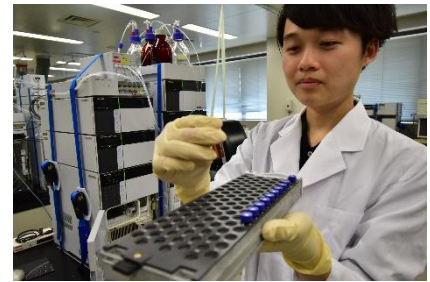
国際獣疫事務局コラボレーティング・センター【飼料の安全と分析分野】

WOAHコラボレーティング・センター

有害化学物質などのリスク管理

農林水産省の「サーベイランス・モニタリング計画※」に基づき、リスク管理のために農産物及び飼料中の重金属、かび毒などの微量有害物質の分析調査を行い、その結果を農林水産省に報告しています。

※農畜水産物や食品などが有害化学物質によってどれだけ汚染されているかを調査



かび毒の分析

科学に基づく食の知識を積極的に提供

業務を通じて蓄積した科学的知見をもとに、広く国民の皆さまに食品の表示や農業生産資材に関する情報を様々なツールを活用して積極的に提供しています。



各種講習会



イベント参加



ホームページ、広報誌、SNS

食品、肥料、飼料及び農薬の新しい検査・分析法や、より効率的、効果的な分析法の開発に取り組んでいます。

国の研究機関や大学などと連携して研究を進めることもあります。得られた技術はマニュアル化し日々の業務に活用しています。



FAMICの検査業務には、高い信頼性が要求されます。そのため、分析試験所などの能力に関する国際規格であるISO/IEC17025の認定を取得しています。

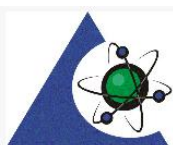
ISO/IEC17025 : 2017認定の概要



Testing LAB
RTL03860

農林水産消費安全技術センター
中央分析室

LC-MS/MSによる小麦及び大麦
中の赤かび病かび毒の定量試験



PJLA
Testing
認定番号102043

農林水産消費安全技術センター
肥飼料安全検査部

とうもろこし中のかび毒のLC-MS/MS
による定量試験

飼料中のほ乳動物、反すう動物、牛及び
しか由来DNAの検出試験

先輩職員からのメッセージ

企画調整部 広報課

2023年採用 一般職（大卒） 農学

私の仕事

企画調整部では、FAMICの運営や各部署を横断する調整業務を行っています。

私の所属する広報課ではFAMIC全体の広報として、イベントでのFAMICのPR、ホームページやSNSの運営、広報誌作成、メールマガジンの発行などを行っています。

FAMICの業務は、安定した農・畜産業、安全な食品生産のために必要であり、大切な仕事です。しかしながらFAMICの知名度はまだまだであるため、その社会的意義の説明、知名度向上に取り組んでいます。



FAMICを志望した動機

食事は生命の維持のための大切な要素であることから、食料生産や食品の安全に関わる職種の公務員を志していました。

FAMICは国家公務員でありながら、科学的な分析業務ができることが魅力でした。業務で収集した知見を活かし、国の食品安全業務を支えるリスクコミュニケーションの一機関であるFAMICに興味をもちました。また食料生産の川上（畑）から川下（食卓）まで管轄する幅広い業務、国単位の仕事や国際関係などスケールの大きさという点で志望しました。

FAMICを志望される方へ メッセージ

FAMICで働く先輩方は高度な科学的知識をもっています。しかしながら、「大学でその道の専門的な勉強をしていなかったから不安」なんて考える必要はありません。周囲の方々のサポートとともに日々の仕事で勉強することによって、成長することができます。

FAMICの仕事に興味を持った方は、業務説明会でお会いしましょう！YouTubeでも業務紹介動画を配信していますので、こちらをご覧ください！実際のイメージをつかむことができますよ。

企 画



イベント時のスケジュール

09:00

会場到着。
イベントの準備をします。

10:00

イベントスタート。
来場者にFAMICの仕事を説明します。FAMICの業務に関わる豆知識が人気です。

12:00

会場周辺の飲食店を楽しみます。

13:00

午後も同様にいきます。

17:00

イベント終了。片付け、帰宅します。

ある日のスケジュール

08:45

早めに出勤し、お茶を飲みゆっくりします。

09:00

業務開始。
その日に行う仕事を確認します。

10:00

施設見学の対応を行います。

12:00

昼休み。
持参した弁当を食べるか、近隣の飲食店へ行きます。
食後は自席で昼寝します。

13:00

業務再開。
ホームページ更新、SNS投稿、広報誌記事の作成、イベントの資料作成などを行います。

17:45

業務終了。



先輩職員からのメッセージ

農 薬



農薬検査部 農薬使用時安全審査課
2022年採用 一般職(大卒) 農学

私の仕事

農薬使用時安全審査課に所属し、主に農薬の登録審査及び再評価業務、調査研究に携わっています。登録審査及び再評価業務では、申請者から提出された試験成績をもとに農薬の使用者への安全性を評価し、使用時の注意事項や防護装備を付しています。また、農薬の評価部会等に参加し、毒性評価に関する知識の習得に努めています。調査研究では、農薬の人畜への影響に関する題材について、補助担当者として資料の閲読及び整理等を行っています。

ある日のスケジュール

08:45

出勤。

09:00

業務開始。
メールをチェックし、スケジュールや作業依頼を確認します。

09:30

審査業務、回覧確認。
チームメンバーの担当する案件について、作成された資料の内容確認をします。
必要に応じて意見出しをします。

12:00

昼休み。
お弁当を持参しています。

13:00

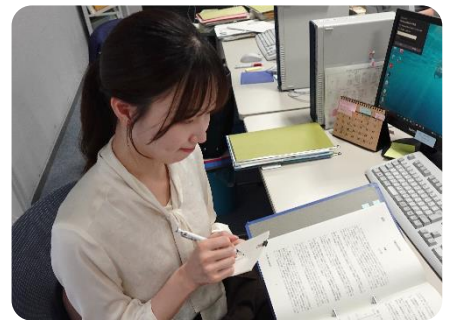
審査業務。
担当する案件について、審査を行います。判断に悩む場合は先輩や上司に相談し、適切な判断ができるよう努めています。

16:00

文献調査等。
調査研究に必要な資料を閲読し、内容を整理します。

17:45

業務終了。
翌日のスケジュール確認とタスク整理をし、退勤。



FAMICを志望した動機

人々が生きていく上で必要不可欠である「食」に関心があり、中でも、検査や分析などの技術で食の安全に貢献していくというFAMICの業務内容に惹かれて志望しました。

FAMICには肥飼料、農薬、食品の3つの部門があり、専門分野において広く活躍できることも魅力でした。入所前に業務説明会や施設見学に参加した際、職員の方とお話する機会があり、職場の雰囲気を生々の声で聞くことができたため、働く姿を想像しやすかったのも決め手の一つです。

FAMICを志望される方へ メッセージ

入所前に業務説明会や施設見学に参加した際、対応して下さった職員の方々が親切で和やかな雰囲気だったことが印象的でした。そのイメージは入所後も変わらず、OJTを通して不安な点は周囲の先輩方が丁寧に教えてくださるため、安心して働ける環境だと思います。まずは自分の可能性や選択肢を少しでも広げられるよう、気になる官庁や企業の説明会等には積極的に参加してみてください。そういった中で、自分に一番合う職場が見つかるのではないかと思います。



先輩職員からのメッセージ

神戸センター 飼料検査課
2020年採用 畜産系技術職（一般職（大卒）相当）

私の仕事

私の仕事は家畜用の飼料とペットフードを検査、分析することです。飼料やペットフードを製造・販売・輸入する事業場に立入検査を行い、原料の受入から製造、製品の出荷までの記録を調べて問題がないかを確認します。また、製品や原料をサンプリングし、分析を行います。かび毒や重金属の有害物質、残留農薬、牛用飼料であればたんぱく質が含まれていないかなどを分析により確認します。飼料やペットフードの事業場への立入検査と製品や原料中の有害な成分を分析することで、家畜やペットそして畜産物を食べる消費者の安全と健康に貢献することができるやりがいのある仕事です。



FAMICを志望した動機

私は大学で畜産を専攻していて、家畜、特に飼料に関わる仕事に就きたいなと思っていました。公務員を視野に入れて勉強を始めていたときに、大学の先輩が就職したことがきっかけで、FAMICの存在を知りました。

FAMICは全国6カ所にセンターがあり、全国各地で働く可能性があったので、目新しいものの好きの私には大変魅力的だったため志望しました。

FAMICを志望される方へ メッセージ

私は採用されるまで分析で使用する機器も飼料の法律についても全く知りませんでした。最初は不安でしたが、先輩や上司が丁寧に教えてくれるので、不安がある方でも安心して仕事ができると思います。

また、プライベートに関してもお休みが取りやすい職場なので、私は休日と有給を組み合わせて配属先周辺の観光地などによく遊びに行っています。仕事とプライベートを両立したい方にはとっても魅力的な職場だと思います！

興味のある方はぜひ見学や業務説明会に来てください！お待ちしております！

飼料



ある日のスケジュール

08:30

出勤。
メールのチェックを行います。分析は作業着で行うので着替えます。

09:00

分析開始。
試料の抽出や分解等を行って前処理を行います。

12:00

昼休み。
私はお弁当を持参して自席で食べます。

13:00

分析再開。
LC-MS/MSや原子吸光等の分析機器でサンプルを測定します。

14:00

測定が終了するまで、実験器具の片付けをします。空き時間で立入検査の報告書をまとめます。

16:00

測定が終了したら、分析結果をまとめ上司に提出します。測定時間が長い分析の時は次の日に報告します。

17:15

仕事を終え、帰宅します。



先輩職員からのメッセージ

規 格

規格調査部 試験規格調査課
2023年採用 一般職(大卒) 水産

私の仕事

規格調査部では、日本農林規格(JAS)の制定、見直しに関する仕事をしています。FAMIC自らがJASの制定、見直しの申出をすることもありますが、事業者団体が申出をする場合にはサポートを行います。

私が所属する試験規格調査課は、試験方法JASを主に担当します。試験方法JASとは、食品や農林水産物に含まれる機能性成分等の測定方法を規格化したものです。信頼できる方法であることを説明するために、試験方法の性能の検証、確認を行います。また、蓄積した知見を基に、事業者が行う性能確認をサポートすることも仕事の1つです。

ある日のスケジュール

08:50

出勤。
余裕をもって出勤します。

09:00

業務開始。
試料や試薬を出すなど、準備を行います。

09:15

作業開始。
測定用試料の調製を行います。試料を粉砕、抽出し、前処理を行います。

12:00

昼休み。
同期と過ごします。普段はお弁当を持参しています。

13:00

作業再開。
待ち時間に実験器具を洗浄して、片付けを同時並行で進めます。

15:00

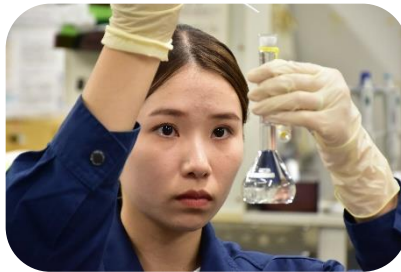
作業終了。
残りの後片付けをします。測定は次の日に行います。

15:30

事務室に戻る。
JAS解説動画の編集を進めます。上司から意見をもらい、動画をブラッシュアップします。

17:45

業務終了、帰宅。
いつも定時で帰っています。



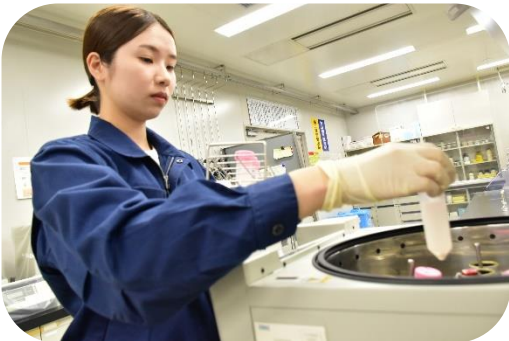
FAMICを志望した動機

大学では水産を専攻し、卒業後は地方公共団体で働いていました。地域に根ざした前職の仕事内容にはやりがいを感じていましたが、日本の農林水産業に多角的に関わることができると仕事がしたいと思い、転職を選択しました。

FAMICを志望した決め手は業務内容で、検査、分析など技術的な業務に従事できる点に魅力を感じました。漠然と技術職に憧れており、就職活動の軸としていたため、FAMICでなら希望が叶えられると確信しました。また、国際業務に携わることができるのも、国の機関ならではの考えです。

FAMICを志望される方へ メッセージ

FAMICは専門性を活かせる仕事がしたいという方にはもちろんのこと、いろいろな仕事を経験してみたいという方にもおすすめできる職場です。研修やOJTが充実しており、先輩方が丁寧に教えてくださるので、安心して働くことができます。また、分析以外の業務も経験できるので、自分の能力の幅を広げることができます。私自身、JASの解説動画を作成したり、国際会議のお手伝いをしたりなど、さまざまな仕事を経験できました。興味のある方は、説明会などに参加してみて、FAMICの雰囲気を感じてもらえればと思います。お待ちしております！



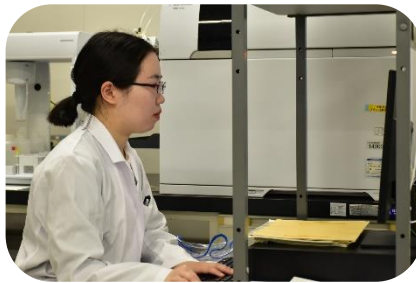
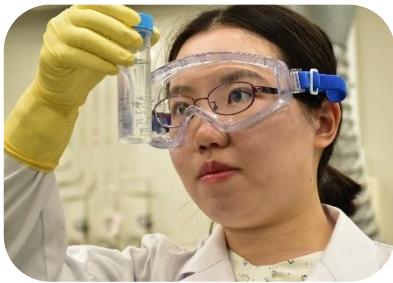
先輩職員からのメッセージ

表示監視部 技術研究課
2021年採用 一般職（大卒） 化学

私の仕事

表示監視部では、市販されている食品を買い上げ、それらの食品表示が食品表示法に基づき正しく表示されているのか、科学的検査等を通して確認しております。

私の所属する技術研究課では、そのような表示監視部の科学的検査で使用される分析技術の研究開発を行っております。研究開発においては、外部の研究機関等と連携したり、新技術を取り入れることもあるため、自分がこれまでに関わってきた分野とは別の分野に関わる機会も多いですが、OJTや研修等を通じて知識と技術を高めて業務に携わっております。



FAMICを志望した動機

私は学生時代から、生きていく上で欠かせない食の分野に対する興味が強く、それに関わる研究や分析の仕事に携わりたいと考えておりました。就職活動の中で公務員という進路も選択肢に入れた際に、大学の先輩が就職したことがきっかけでFAMICの存在を知りました。FAMICのことを詳しく知る中で、科学の知識や技術を活かして出した分析や調査の結果をよりよい社会づくりに反映し、社会に貢献することができるやりがいのある仕事だと感じたため、志望いたしました。

FAMICを志望される方へ メッセージ

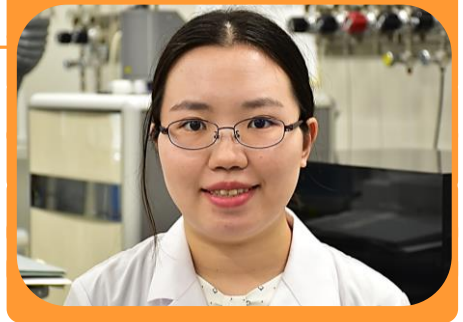
FAMICは食品自体だけでなく、飼料、農薬、肥料等の様々な分野に大きく関わる機関であるため、特に広い範囲で食の安全や行政面に関わることが出来ます。

部署によって差はありますが、分析の仕事が多いため、分析の技術や経験を活かしたい人には特におすすめだと思います。

また、有休を取りやすく、在宅勤務等もあるため、ワークライフバランス面も充実していて働きやすい職場だと感じています。

皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。

表示



ある日のスケジュール

08:20

出勤。
メール及び1日のスケジュールを確認した後、作業着に着替えます。

09:30

分析準備。
分析機器を起動し、前日までに用意した分析予定のサンプルや試薬類を分析機器にセットします。その後、分析の条件設定等を行います。

10:30

分析開始。
分析の途中経過を確認しつつ、次の実験で使用予定の試薬の調製を行います。

12:00

昼休み。昼食は自席で食べています。

13:00

作業再開。

14:30

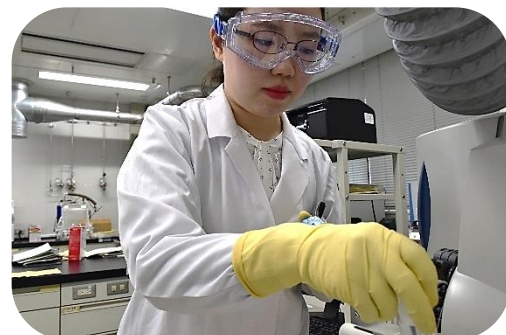
分析終了。
分析データを取り出した後、機器やサンプル類の後片付けを行います。

15:30

データの解析。
データの解析結果から、次に行う実験の内容等を決定します。

17:15

業務終了。仕事を終えて帰宅します。



採用について

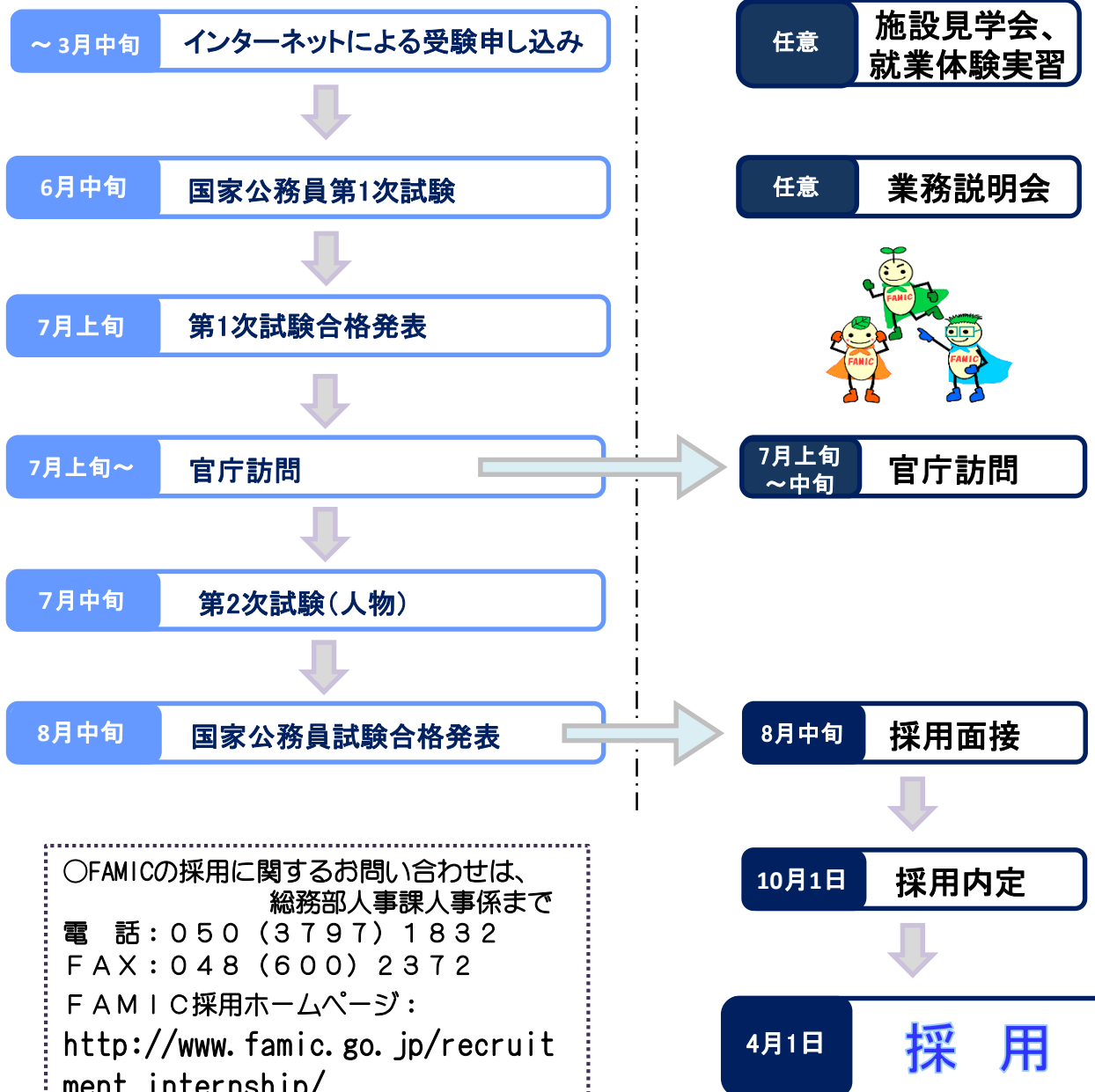
FAMIC の職員は、人事院の国家公務員採用試験またはそれに準ずる試験（農林水産省技術系職員採用試験）の合格者の中から採用を行っています。

国家公務員採用試験については、人事院のホームページ。農林水産省技術系職員採用試験につきましては、農林水産省のホームページをご参照ください。

業務説明会ならびに官庁訪問の詳細につきましては、実施時期になりましたらホームページに掲載しますので、ご覧ください。

一般職試験(大卒程度) (おおまかな流れ)

FAMICでの 採用までの流れ



○FAMICの採用に関するお問い合わせは、
総務部人事課人事係まで
電話：050(3797)1832
FAX：048(600)2372
FAMIC採用ホームページ：
http://www.famic.go.jp/recruitment_internship/

Q&A

Q 採用（実績）について教えてください。

A F A M I Cでは、人事院が実施する国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験及び高卒者試験）の合格者のうち、F A M I Cの採用面接に合格した方及び農林水産省の技術系職員採用試験（一般職試験(大卒程度試験)相当）の合格者を採用しています。

なお、過去4年間の採用実績及び来年度の採用予定については右記のとおりです。

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (予定)
大卒	16(11)	7(5)	19(14)	9(4)	19
高卒	3(2)	-	3(2)	2(1)	2

※カッコ内は女性の人数(内数)

Q 勤務時間・休暇制度について教えてください。

A 1日の勤務時間は7時間45分です。本部（さいたま市）の場合、3種類の勤務時間（①8:30～17:15、②9:00～17:45、③9:15～18:00）から選択することができます。また、育児・介護を行う職員のための早出遅出勤務のほか、フレックスタイム制勤務など、様々な勤務形態があります。

土・日曜日、祝日及び年末・年始は休日となります。

休暇については、年次休暇(年20日(4月1日採用の場合、その年は15日))、特別休暇(夏季休暇、産前産後の休暇、忌引)、病気休暇があります(別途、育児休業制度あり)。

Q 初任給はどれくらいですか。

A F A M I C職員は国家公務員の身分を有しており、国の法律などに準じております。本部（さいたま市）に勤務する場合、大卒で月額253,000円（令和6年4月時点）となります。その他、状況に応じて住居手当、通勤手当などが支給されます。

Q 人事異動（転勤）について教えてください。

A 平均して2～3年で人事異動があります。本人の意向を尊重しつつ、適性・能力などを総合的に判断の上、部内異動や本部・地域センター間の異動があります。また、所管省庁である農林水産省などへの人事交流もあります。

Q 職員は全国で何人いますか。男女別数はどうなっていますか。

A F A M I Cの本部・地域センター別の職員数及び男女別内訳は以下のとおりです。

令和6年4月1日現在

	本部	小平	横浜	札幌	仙台	名古屋	神戸	福岡	合計
計	245	89	46	34	35	37	90	47	623
男	141	59	27	27	25	26	65	34	404
女	104	30	19	7	10	11	25	13	219

FAMICの所在地及び連絡先

●本部

〒330-9731 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1
さいたま新都心合同庁舎検査棟
電話：050(3797)1830(代表)
FAX：048(600)2372
ホームページ：<http://www.famic.go.jp/>



●農薬検査部



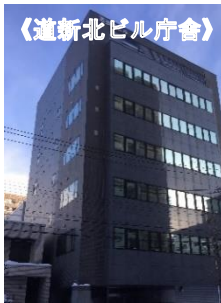
〒187-0011
東京都小平市鈴木町2-772
Tel.050-3797-1876

●横浜事務所



〒231-0003
神奈川県横浜市中区北仲通5-57
横浜第2合同庁舎
Tel.050-3797-2714

●札幌センター



〒001-0010
北海道札幌市北区北10条西
4-1-13
Tel.050-3797-1758



〒060-0042
北海道札幌市中央区大通西10-4-1
Tel.050-3797-2716

●仙台センター



〒983-0842
宮城県仙台市宮城野区五輪1-3-15
仙台第3合同庁舎
Tel.050-3797-1888

●名古屋センター



〒460-0001
愛知県名古屋市中区三の丸1-2-2
名古屋農林総合庁舎2号館
Tel.050-3797-1896

●神戸センター



〒650-0047
兵庫県神戸市中央区港島南町1-3-7
Tel.050-3797-1906

●福岡センター



〒813-0044
福岡県福岡市東区早3-11-15
Tel.050-3797-1918